

秋の叙勲『瑞宝双光章』受章

藤本健二さん（八鹿町八鹿）

昭和39年に旧八鹿町消防団に入団以来、約40年間にわたり地域の安全のために活動されました。平成11年からは旧八鹿町消防団の団長、平成16年からは養父市消防団八鹿方面隊長として活躍されました。

在任中には、国指定天然記念物「夫婦杉」の火災をはじめ数多くの火災現場で率先して消火活動にあたり、平成16年台風23号災害では、混乱する現場に的確な指示を与えました。

藤本さんは「とても感激しています。長年にわたり活動できたのは、仲間や家族の支えのおかげです」と話されました。

危険業務従事者叙勲『瑞宝单光章』受章

正垣道生さん（堀畑）

昭和28年に兵庫県警に入られ、40年間にわたって県民の安全と安心のために尽力されました。在職40年の内、35年は但馬地域内の警察署に配属され、交通や警ら、保安の各部署で活躍されました。

特に、交通関係の部署に長く所属され、幼稚園や保育所に交通指導員とともに出向き、交通安全啓発映画の上映や交通安全教室などを通して、交通安全について指導したことが思いに残っているそうです。

正垣さんは「受章にとっても驚いています。今後も、ボランティア活動などを通して、少しでも地域に貢献できればと考えています」と話されました。



全国体育指導委員連合功労者（30年勤続）表彰を受賞

11月8日、9日に新潟県新潟市で開催された第48回全国

体育指導委員研究協議会において、北尾行雄さん（大屋町加保）と圓山洋子さん（十二所）が、平成19年度全国体育指導委員連合功労者表彰（30年勤続体育指導委員表彰）を受賞されました。

北尾さんは、昭和45年に旧大屋町体育指導委員に就任され、合併後も養父市体育指導委員として活動。34年間にわたって地域のスポーツ振興に尽力されました。

養父町で家庭婦人バレーボール同好会の創設やその運営などに精力的に取り組まれました。また、グラウンドゴルフなどニユースポーツの普及にも尽力されました。

大屋川ジョギング大会をはじめとする各種事業の企画と運営、スポーツクラブ21おおやの会長として、その運営に献身的に取り組まれています。現在は、養父市体育指導委員の会長を務めておられます。



▶ 受賞された圓山さん（左）と北尾さん